



©PWJ

大規模災害プラットフォーム ”Civic Force” 基本構想

公益社団法人Civic Force
代表理事 大西 健丞

一刻も早く、一人でも多く救う。
そのために、必要不可欠なプラットフォームを創ります。

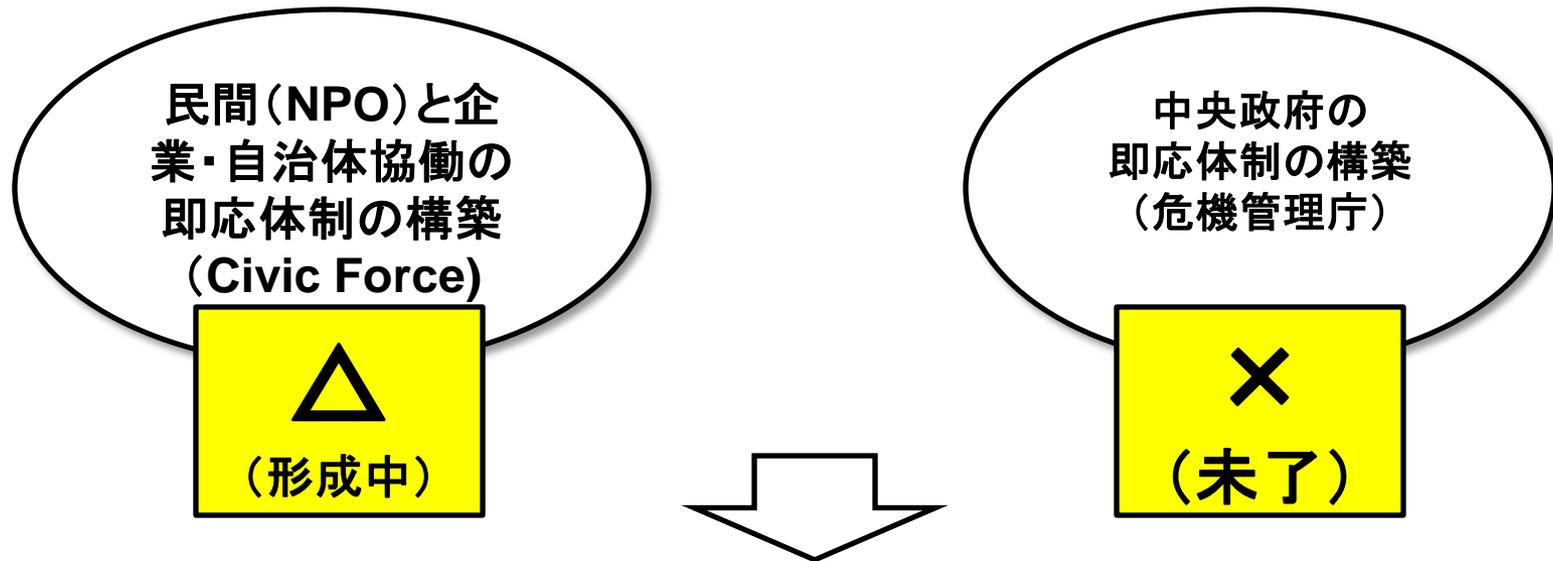
「大規模災害プラットフォーム”Civic Force”」とは、
国内の大規模災害時に迅速で効果的な支援を行うための

NPO/NGO、企業、政府、行政の**連携**組織です。

大規模災害時の支援に必要な
【情報】【人】【資金】【モノ】が
組織内で共有・活用されることで円滑で効果的な支援を可能にします。

【企画の背景】

日本の災害対応体制には、空白があります。



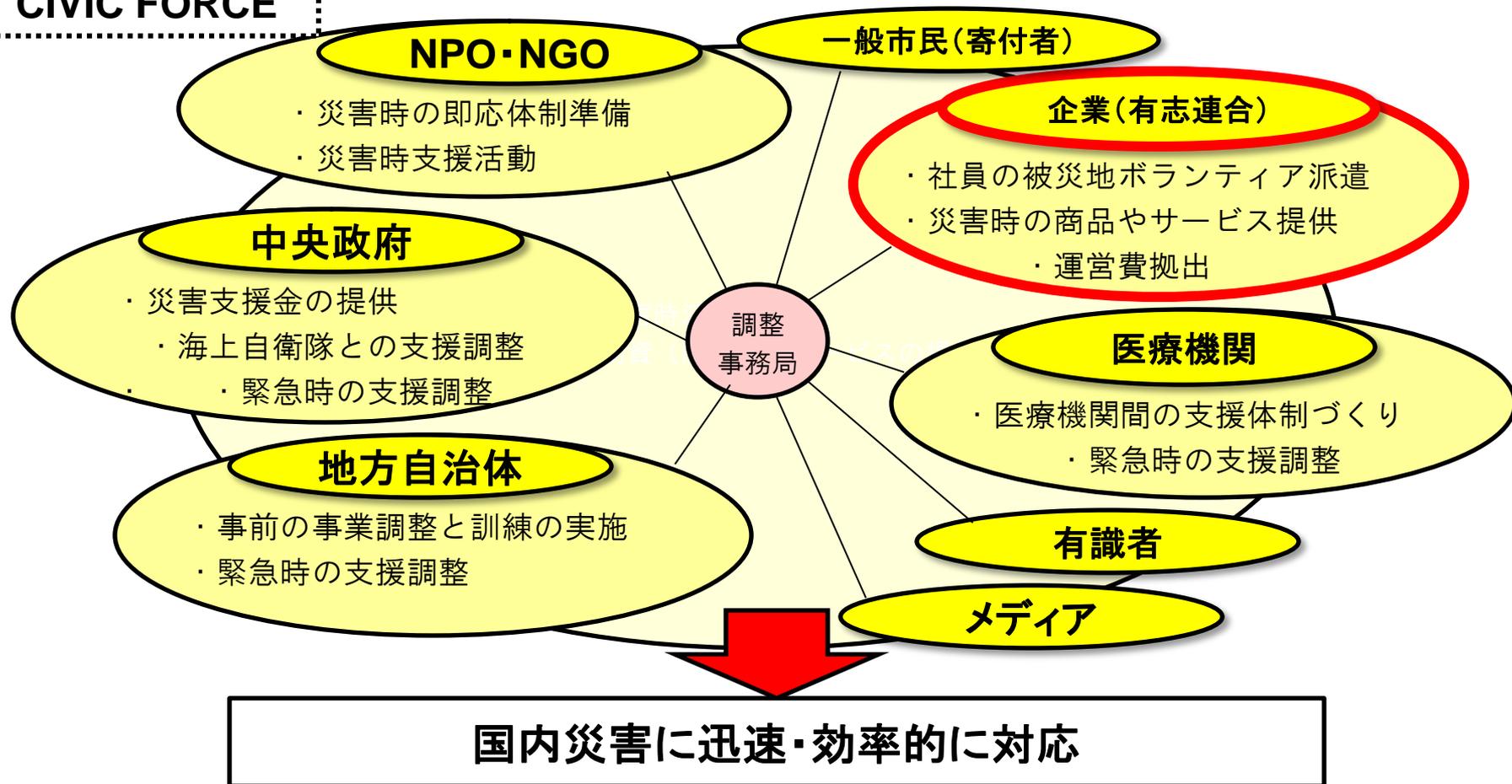
災害即応ハイブリッド・モデルの構築

- ポイント1 危機管理庁とCivic Forceの一体型即応メカニズム
- ポイント2 Civic Forceが初動資金受け皿・分配機能を保有

【基本構想】

市民社会(NPO)、政府、企業、地方自治体が協力して災害に迅速に対応するプラットフォームを構築します。

CIVIC FORCE



日本の成功モデルをアジア諸国に広げます。



各国プラットフォームの「ハイブリッド化」支援

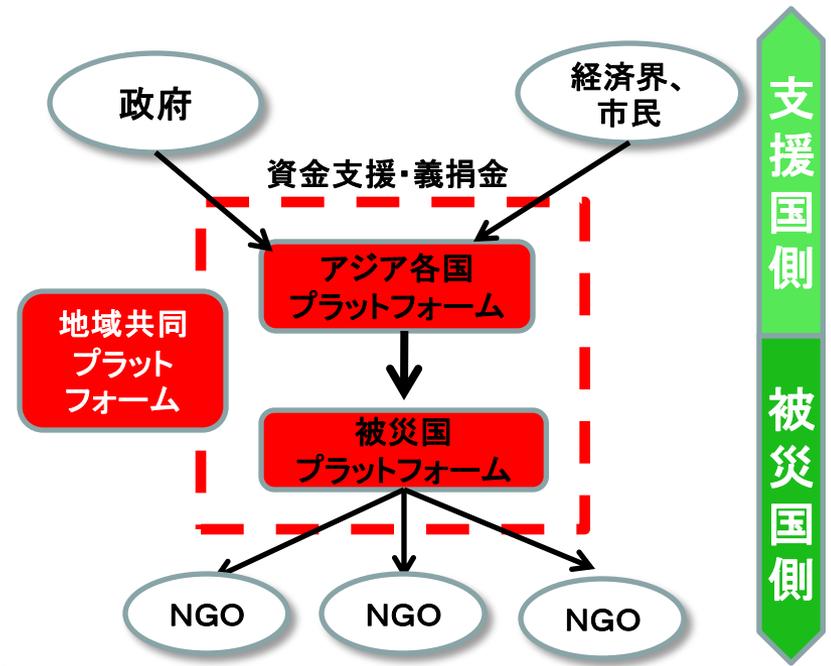
官民連携即応体制
+
初動資金受け皿機能

ポイント1
日本は支援国にも被災国にもなりません。

ポイント2
各国市民の善意（寄付）をつなげます。

ポイント3
緊急災害時の受入体制が万全です。

★日本政府（緊急援助隊、自衛隊）やNGOの海外派遣が被災国プラットフォームとの連携で効率的に実現



支援国側
被災国側

各国のハイブリッド・プラットフォームが繋がり、相互支援型地域プラットフォームを構築します。